



美しヶ丘自主防災会

NO.9

防災ニュース

報告

■ 第 6 回防災訓練として「防災講演会」を開催

512 人が来場、「備えの参考になった！」



11 月 26 日（土）午後 1 時から王寺南小学校体育館において、防災システム研究所所長の山村武彦氏を講師に招き防災講演会を開催しました。テレビなどでお馴染みの山村氏の講演を聞きたいと 512 人が参加しました。

講演では「～自助・近助・共助でつくる～ 災害に強いまちづくり」の演題のもと、以下のテーマでお話がありました。

講演では「～自助・近助・共助でつくる～ 災害に強いまちづくり」の演題のもと、以下のテーマでお話がありました。

- ①人は都合の悪い情報をカットし、自分に都合よく認知しようとする。
- ②これからは、命を守ることを優先する「スマート防災」
- ③平成 28 年熊本地震の教訓
- ④避難所事例と避難所運営の 3 つのポイント
- ⑤東日本大震災と阪神・淡路大震災に学ぶ
- ⑥「自助・近助・共助」と「防災隣組」でつくる、災害に強いまちづくり
- ⑦災害現場のちょっといい話

実際の災害現場などのニュース映像や写真などを使って、山村氏の臨場感あふれる体験談や感動的なエピソードが紹介され、参加者は「自分の命は自分で守る」ことの大切さをあらためて感じていました。

また、講演に先立ち、森俊一郎副会長が自主

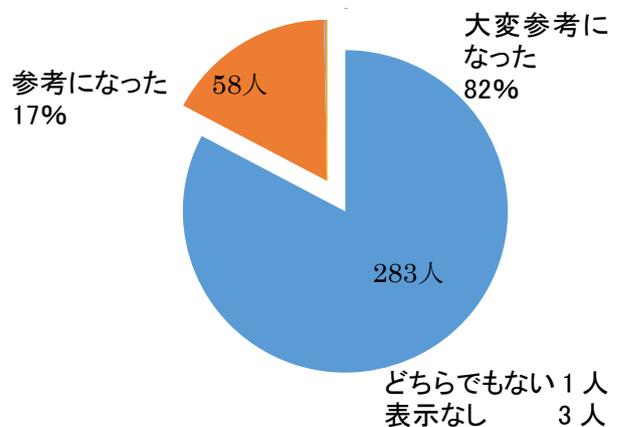
防災会設立の経緯から目的、最近の活動状況などを報告しました。防災訓練に初参加の人々から「いろんなことをやってくれているのですね」という温かい声もいただきました。

講演会後は同小学校グラウンドにて防災かまどベンチ 1 号基でつくった「ぜんざい振舞い」と防災クッキングとして「じゃがりこポテトサラダの試食会」を行い、参加者に本会の活動をより身近に感じてもらいました。（北岡成章）

アンケート結果紹介

参加者アンケートは 345 人から回答をいただきました。結果の一部を紹介します。

今後の備えの参考に・・・



「自分の命は自分で守る」こと、隣人さんとの助け合いの必要性を再認識した、自助・近助・共助の大切さが認識できた、自分には関係ないと思っていたことを反省する、などの意見・感想が多く寄せられました。

■防災かまどベンチ3号基完成

地域連携の大切さをみんなで

鳥居公園にかまどベンチ3号基をつくりました。2号基の横に10月末から作業を進め、11月24日には南小学校4年生50人の参加も得て、12月4日にお披露目しました。

小学生の参加は防災教育の一環。レンガ積み、座板の塗装作業を行い、座板裏面に各自の名前を書いてもらいました。委員らとともに進めた作業によって、防災の地域連携の大切さを体感できたようです。

3号基づくりには委員延べ96人、協力員同45人、西和警察署関係者ほか同9人、あわせて延べ200人が参加しました。



「南小通信」でも大きく取り上げられました



■救命救急講習会

23人に「普通救命講習修了証」が交付

明神4丁目と太子3丁目の住民を対象に救命救急講習会を実施しました。9月17日に「入門コース」、つづいて11月12日に「入門コース」修了者のみ受講可能な「実技救命講習」を奈良県広域消防組合の協力を得て、胸骨圧迫やAEDの使用方法などの実技を中心に学んでいただきました。両コース修了者23人に「普通救命講習修了証」が交付されました。

この講習は地区別に実施していきますので、ぜひご参加ください。

■王寺南幼稚園防災教室実施

幼児のときから防災教育

10月11日、王寺南幼稚園で防災教室を実施しました。

毛布と棒を使った簡易担架の作り方、

年長児には水消火器を使った消火体験をしてもらいました。



自治会ホームページで自主防災会の活動をご覧ください。 [美しヶ丘自治会](#) [奈良県王寺町](#) [検索](#)

■年末夜警

自治会恒例の行事に 57 人が参加

12月27・28日の2日間、自治会恒例の年末夜警に自主防災会委員延べ57人が参加しました。町内ごとに自治会のみなさんとともに「火の用心」と声をあわせて呼びかけました。街路灯の照明が木枝等にはばまれていないかなど、夜間タウンウォッチングもあわせて行いました。

■「防災士」ってなに？

誰でもなれる地域防災の頼れる存在

「黄金の72時間」という言葉をご存じでしょうか。災害などで建物やがれきの下などで人が閉じ込められた場合、生存できるぎりぎりの時間が72時間とされています。24時間以内に救出された被災者の生存率は90%、48時間以内だと50%、72時間以内だと20～30%、72時間を超えると限りなくゼロに近づいてしまいます。阪神淡路大震災では、助かった人の8割強が消防や警察ではなく、近隣の人々によって被災直後に救出さ

れています。

災害の規模が大きくなるほど、近隣の“共助”の力はより重要さを増します。地域の防災力を高めるための意識・知識・技能を有する人を、NPO法人日本防災士機構が規準に基いて認証しているのが『防災士』です。

防災士は身近な地域防災の互助、共助のリーダーともなる存在であり、災害の被害を軽減させる役割を担いますが、防災士資格は民間資格であって、特別な権限や義務を持つものではありません。

しかし、防災に関する知識と技術を持つ防災士は、地域の防災の頼れる存在として、高い評価と期待を持たれています。美しヶ丘の自主防災会でも防災士の資格を持つ人が大勢活躍しています。

防災士資格を得るためには、防災に関する所定のカリキュラムを履修し、試験に合格しなければなりません。日本防災士機構が随時講座を実施していますが、奈良県でも毎年「防災士養成講座」を行っており、県民なら誰でも受講できます。機会があれば一度チャレンジしてはいかがでしょうか。（山田享子）

■身近にできるわが家の防災

災害時の備蓄～飲料水編～

災害時用の備蓄の中で飲料水を確保しておくことはとても大切です。ホームセンターなどでは、長期保存用のミネラルウォーターも売られていますが、今回は家庭で簡単に水道水を飲料用として保存する方法をご紹介します。

まず、水道水を保存する時には以下の2点に注意してください。

【注意点1】煮沸しない

【注意点2】浄水器を通さない

水道水は塩素分が含まれたまま使うことが大切です。

煮沸したり浄水器を通すと、塩素分がなくなり水が傷みやすくなるからです。

<水道水を保存用に作る方法>

①扱いやすい2リットルのペットボトルを用意します。

②水を半分ほど入れ、キッチンハイター5mlを入れ、よく振って、そのまま1時間ほどおいて殺菌消毒した後、中をよーくすすぎます。

③ペットボトルの口いっぱい（表面張力で盛り上がるくらい）まで水道水を入れ、空気が入らないようにキャップをしっかりしめます。（ここが重要！）

④日付を書いて冷暗所に保存し、半年くらいを目安に入れ替えましょう！

入れ替えた水は、洗濯や植木や水まきなど、無駄なく使ってくださいね。また、大人1人が一日に必要な量は3リットルです。家族の人数に合わせて1週間分くらいは備蓄しておきたいものです。

（山田享子）



■コラム■いまどきの防災

“自分で情報を取り、自分で判断して行動する”が基本

防災では、自ら考え、判断し、行動する主体的行動型避難をできることがスタンダードになりつつあります。学校教育でも、平成20年1月の中央教育審議会答申を受けて、平成20年の小・中学校、平成21年の高等学校などの学習指導要領が改訂されました。

教育のねらいは大きく分けて3つ。「的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができるようにする」「危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができる」「学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できる」ようになることです。

つまり市町村の「避難指示」や「避難勧告」などの情報を待つのではなく、自ら情報を収集して、自ら判断して行動できるようになろう！ということです。

実際、緊急防災情報や降雨・河川の水位など数多くの防災情報をデジタルテレビでもインターネットでもリアルタイムに得ることができます。

また、水害については、今年の8月に「家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）」を国土交通省が公表しています（洪水ハザードマップはこれらの区域を新たに加えて、市町村が改訂して住民に配ります）。

ぜひ、これらの情報をいつもチェックする習慣をつけておきましょう。

<防災情報の多様なウェブサイト>

「大和川のライブカメラと水位」<http://www2.yamato.kkr.mlit.go.jp/cctv/index.html>

「交通規制・道路気象」<http://road.kkr.mlit.go.jp/road/index.html>

「川の防災情報」（全国から地方中小河川）

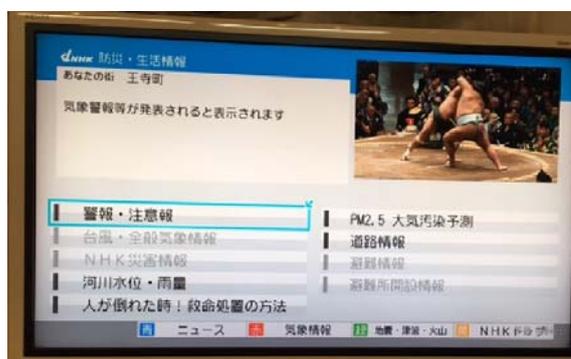
<http://www.river.go.jp/kawaboutop/gaikyo.do?init=init&gamenId=01-0101&fldCtlParty=no>

XRAIN（地域の詳細な雨量がわかるサイト）（川の防災情報>レーダー雨量>XRAIN）

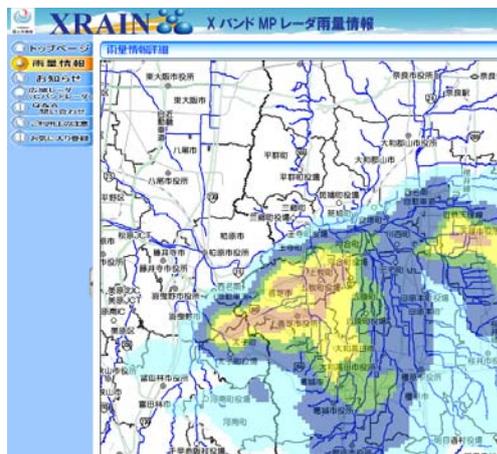
奈良県エリアの気象 <http://www.jma.go.jp/jma/bosai/nara.html>

奈良県エリアの土砂災害情報 http://www.jma.go.jp/jp/dosha/335_index.html

奈良県土砂災害防災情報<http://www1.nara-saboinfo.jp/index.html>



NHKで「dボタン」→<防災・生活情報>



また、王寺町は防災・防犯についての緊急情報を携帯電話に送信するサービス（王寺町安全安心メール）もしていますので、ぜひ登録しておきましょう。



（道下弘子）